



京都大学

教育学研究科ミニ・シンポジウム

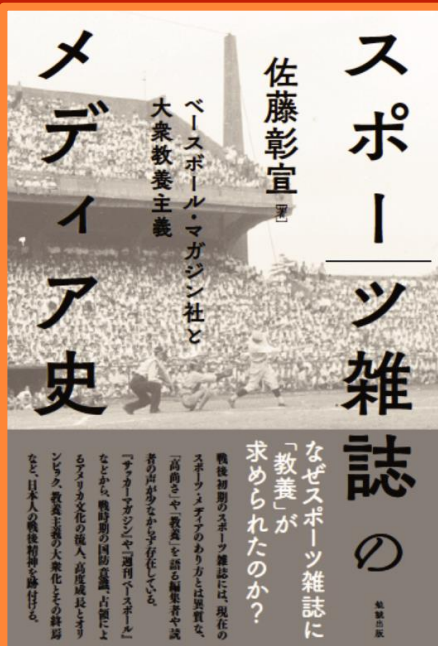
Graduate School of Education, and Faculty of Education, Kyoto University

2018年1月21日 日曜日

14:00～17:00

教育学部第1会議室(1F)

# スポーツ・メディア研究



のデザイン  
をめぐって



プログラム(14:00～17:00)

趣旨説明(佐藤卓己): 「スポーツメディア」における「教養」のデザイン

報告(加島卓): 『スポーツ雑誌のメディア史』を読む

応答(佐藤彰宣): 『オリンピック・デザイン・マーケティング』から考える

—休憩(15:45～16:00)—

パネル討議(司会: 福間良明): 「大衆教養主義」は「マーケティング」できるのか

戦後初期のスポーツ雑誌の誌面上には、「高尚さ」や「教養」を語る編集者や読者の声が確認できる。スポーツと教養主義は大衆レベルでどのように結びつき、スポーツメディアを成立させたか。このミニ・シンポでは、まず佐藤彰宣(立命館大学非常勤講師)の最近著『スポーツ雑誌のメディア史—スボール・マガジン社と大衆教養主義』(勉誠出版2017年)を素材として、スポーツメディア研究の射程を考える。

報告者は五輪エンブレム問題からスポーツ史に切り込んだ新著『オリンピック・デザイン・マーケティング—エンブレム問題からオープンデザインへ』(河出書房新社2017年)がある加島卓(東海大学文学部広報メディア学科准教授)である。

加島報告に佐藤が応答した後、『働く青年』と教養の戦後史—「人生雑誌」と読者のゆくえ』(筑摩書房2017年)で2017年度サントリー学芸賞を受賞した福間良明(立命館大学教授)の司会により、パネル討議、さらに会場討議によって、教養のデザインをめぐるメディア研究の可能性を模索する。参加自由(無料)。

連絡先: 佐藤卓己(メディア文化論研究室: [sato.takumi.5e@kyoto-u.ac.jp](mailto:sato.takumi.5e@kyoto-u.ac.jp))

\*シンポジウム終了後、福間良明さんのサントリー学芸賞受賞を祝うパーティを兼ね、懇親会を予定しております。参加希望者は事前に佐藤まで連絡ください。